

総額377億5千800万円

新年度予算は、3月5日に開会した市議会定例会議に上程、25日に各上程議案が可決され、散会しました。

一般会計予算

一般会計予算規模の総額は、168億8千300万円となっており、前年度当初予算146億6千100万円に比べて、15.2%増(22億2千200万円)となっています。

前年度に続いて予算額が大きく増加しているのは、主には新中学校建設事業や葬斎場建設事業などの普通建設事業で約19億8千万円の大幅増となっているほか、「子ども・子育て支援新制度」への移行に対応した保育所・幼稚園制度運営への適切な対応など、前年度以上に政策的対応課題が集中したことが主な原因となっています。

今後の財政運営については、予算編成の要となる市税や地方交付税は減少での推移が見込まれることから、新年度以降の大型事業経過後については、投資的事業費の平準化を図り、市債発行額の抑制に努めていく必要があります。

また、新年度から、人口減少や地域活性化対策としての「地方創生」への取り組みを推進していくこととなりますが、同時に中長期的な観点からは、人口推移に応じた施設の統廃合や集約化による公共施設等の適正管理に努め、トータルコストの削減を図り、財政負担の軽減、平準化にする取り組みを推進していくことにより、持続可能な財政運営に努めてまいります。

【伝統・文化の継承・発展とスポーツの振興】
 ☆市立体育館運営事業(駐車場整備事業)、市営プール運営事業(プール改修事業)、ミリカホール自主公演事業など。

【産業の振興】
 ☆農地中間管理事業、人・農地問題解決推進事業、多面的機能支払交付金事業(旧・農地・水・環境保全向上対策事業)など。

【働きたい人が働ける環境づくり】
 ☆シルバー人材センター運営補助事業、高齢者地域就業促進事業(緊急雇用創出事業)など。

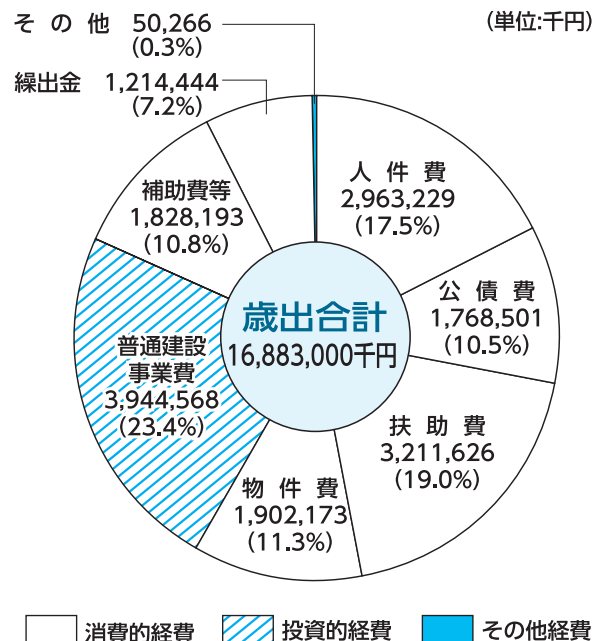
【快適に暮らせる生活基盤の整備】
 ☆一般廃棄物(びん・ガラス類)収集運搬事業、葬斎場建設事業、ごみ焼却施設整備事業、小集落外壁改修事業など。

【魅力ある都市基盤の整備】
 ☆自動車運送事業会計清算事業、高速道路対策事業など。

主な普通建設事業は次のとおりです (百万円未満は四捨五入)

☆都市基盤整備事業	6千300万円
☆消防施設整備事業	2億7千400万円
☆公営住宅整備事業	1億円
☆庁舎・福祉施設整備事業	4千万円
☆文教施設整備事業	25億1千900万円
☆農林水産事業	3千400万円
☆道路・河川整備事業	2億4千700万円
☆環境衛生整備事業	6億6千800万円

一般会計歳出(性質別)の状況



特別会計予算

【競輪事業特別会計】

地方公共団体の財政資金の調達を目的として設けられている収益事業です。「開設65周年記念競輪」の開催等により、前年度比5.7%の増となっています。

【土地取得事業特別会計】

公共用地を先行取得するために必要な事業です。前年度予算と同額となっています。

【介護保険特別会計】

介護保険制度を社会全体で支えるための特別会計です。前年度比2.0%の増となっています。

【公共下水道事業特別会計】

社会資本整備の一翼を担う事業で、浸水対策としての雨水ポンプ場や雨水幹線施設等を整備します。川北第二排水区枝線水路整備工事などを行い、前年度比1.7%の減となっています。

【後期高齢者医療特別会計】

原則75歳以上の方が加入する医療制度です。県下の市町村が加入する広域連合への納付金を支出します。前年度比3.0%の減となっています。

【住宅新築資金等貸付事業特別会計】

前年度比0.5%の減となっています。